

Finland フィンランド

ヘルシンキから北西へ約300km。ヨキピーという小さな街のはずれにある、森に囲まれたこの工房が設立されたのは1920年。フィンランドが長きに渡る旧ロシア支配から独立を果たした、わずか3年後のことでした。当時のオーナーはリネンやウールの縫製を志したものの、当時のフィンランドには技術がなく、エストニアやデンマークから機械を輸入して勉強したそうです。設立から95年経った2015年現在、3代目にあたるオーナーは20名程のスタッフと共に、リネンをメインに今も伝統織物をつくり続けています。



Latvia ラトビア

バルト三国のひとつ、ラトビアの首都リガから北東へ90km行くと、人口約8,000人の小さな街、リンバジがあります。ここにひっそりと佇む工房が設立されたのは1914年のこと。100周年を迎えたこの老舗工房は、2つの世界大戦と、ロシア(旧ソ連)による支配から2度に渡って独立を果たすという、ラトビアにとって激動の時代を経験しています。そんな悲しい歴史を微塵も感じさせないオーナーの人柄と暖かい工房の雰囲気。リネンとウールをメインに、ラトビアだけでなくバルト三国の他2国の民族衣装も扱っています。倉庫の棚には、伝統織物のサンプルがぎっしり埋め尽くされていました。



*TUNDRAのネクタイはすべて「生地は海外」「縫製は日本」で行っています。
詳しくはこちらをご覧ください。HP：www.tundra-online.com